

令和7年度高校生自転車交通マナー向上対策事業 実践指定校の取組

1 目的

県立高等学校の自転車通学生を主たる対象とし、愛媛県自転車の安全な利用の促進に関する条例の基本理念である「シェア・ザ・ロード」の考え方に沿った交通安全教育を強化し、交通ルールの遵守や自転車交通マナーの向上に取り組むことにより、自転車が関与する事故の防止を図る。

2 令和7年度実践指定校

- 愛媛県立新居浜東高等学校
- 愛媛県立今治工業高等学校
- 愛媛県立宇和高等学校

3 実践指定校の主な取組

令和7年度自転車交通マナー向上対策実践指定校の主な取組

実践指定校	交通安全教室の開催	登下校時の危険箇所の把握・分析	自転車新文化の促進	普及啓発チラシの作成・配布	地区版マナーアップ会議の開催	保護者に対する啓発・実践
新居浜東高校	- 交通安全教室(交通事故再現スタント) - 交通安全集会(青切符)	- Google mapを活用した通学路危険箇所マップの作成 - 文化祭でのマップ掲示	しまなみ海道でのサイクリング実習の実施	- 文化祭での交通安全啓発イベントチラシの作成、配布 - 公式Instagramによる情報発信	「5のつく日」新居浜市内高等学校合同交通指導の通年実施 「5のつく日」を振り返っての資料作成、配布	- 交通安全集会、交通安全洋室の参観 - 公式Instagramによる生徒の自転車事故の現状の情報発信
今治工業高校	1年生オリエンテーション - 第1回交通安全教室(交通事故再現スタント、県警実技講習) - 第2回交通安全教室(青切符)	学校周辺の危険箇所マップの作成、掲示	玉川ダムサイクリングの実施、発表	- 交通安全ポスター、普及啓発チラシの作成、掲示及び配布 - 交通安全標語の募集、優秀作品の決定	- 保育所での交通安全教室開催 - 今治地区高校生交通安全会議の開催	- 自転車損害保険加入の説明及び加入者数調査の実施 - 取組内容の学校HPへの掲載
宇和高校	交通安全教室(交通事故再現スタント、自転車シミュレーター危険体験)	- 通学危険箇所のアンケート - 学校周辺の危険箇所マップの作成、掲示 - 校内危険箇所への外灯設置	第5回自転車甲子園への参加	- 交通安全チラシ、ポスターの作成、掲示及び配布 - 交通安全標語の募集、優秀作品の決定	八西地区交通マナーアップ会議の開催	- 交通安全便りの作成、配布 - 学校HPでの活動報告

4 実践指定校の取組

(1) 交通安全教室の開催

スタントマンによる交通事故再現
(スケアード・ストレイト教育技法)



愛媛県警察署による交通講和
(自転車反則通告制度(青切符)の説明)



自転車シミュレーターの体験



(2) 登下校時の交通危険箇所の把握・分析

危険箇所マップの作成



(3) 自転車新文化の促進

しまなみ海道でのサイクリング体験



自転車甲子園への参加

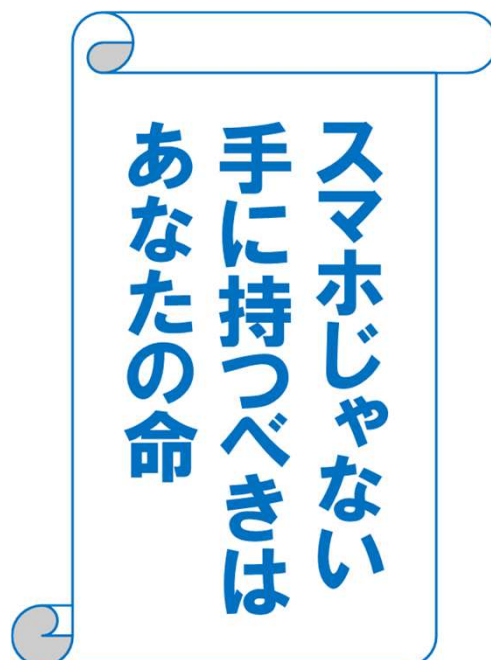


(4) 普及啓発チラシの作成・配布

交通安全啓発ポスターの作成



交通安全標語の作成



(5) 実践成果の普及

保育所園児への交通安全教室の開催



公式instagramでの情報発信



交通安全教室での取組の発表





成果と課題

○スタントマンによる事故再現、県警バイシクルユニットによる実技研修や自転車シミュレーターの体験など、体験的な学びを通して、交通事故の危険性を体感することで、交通安全教育の自分事化を促し、交通安全意識の醸成を図ることができた。

○サイクリング体験や県自転車新文化推進課が開催している「自転車甲子園」への参加を通して、自転車の楽しさを体験するとともに、自転車の体験を通して「健康・生きがい・友情」を育む「自転車新文化」に触れることで、郷土愛を養うことに繋がった。

○交通安全啓発ポスターを作成し展示・配布したほか、保育所園児への交通安全教室を開催するなど、地域への交通安全意識の啓発を行った。地域への啓発活動を通して、あらためて交通ルールを学ぶとともに、歩行者・自転車等がお互いの立場を思いやることの大切さを再認識することができた。

●令和8年4月から自転車反則通告制度（青切符）が導入されるため、交通ルールや自転車の正しい乗り方についてあらためて指導を徹底するとともに、生徒の主体的な行動変容を促す必要がある。

●交通安全意識の醸成には、交通安全教育を自分事化することが重要であるため、自転車シミュレーターやVR、交通安全教室など体験的な学習の充実を図る必要がある。

●小・中学校や保育所・幼稚園など、様々な主体に対して生徒自身が交通安全について教える機会を設けることで、生徒の主体的な学びを促し、交通安全への深い理解に繋げる必要がある。